

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第2回 南信州木づかいコンテスト
事業主体 (連絡先)	飯伊木材協同組合 〒395-0033 長野県飯田市常盤町 30 (飯伊森林組合内) TEL 0265-22-0604
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,206,690 円 (うち支援金: 934,113 円) 934,000

事業内容

地域木材の有効利用や地産地消に向けて、新たな活用法や優れたデザインを競う木材のコンテストを開催。2回目となる今回は、「こども部門」を新設し「アイデア部門」「デザイン部門」「その他、家具・雑貨」の4部門で作品を募集、59点の作品が集まった。作品は、まず作品用紙にまとめ4会場に張り出し一般の投票を元に一次選考を行った。最終選考は、一次の通過者によるプレゼンテーションを審査員が審査。最優秀賞などを選定し、各賞表彰が行われた。



【最優秀賞「木造ジャングルジム」】

自己評価 (事業実施率) 【 B 】

事業効果

2回目となる今回は、新たな試みもあり前回の倍以上の59点の作品が集まった。木材を使ったコンテストは、地域のマスコミに取上げられ、問合せが来るなど反響があった。

最優秀賞に選ばれた作品は、22種類もの継ぎ手の技術で作られたジャングルジム。今後、建築の教材に使えるのでは、との声も上がった。他にも多くの優良な作品が集まり、森林に囲まれたこの地域に多くの知恵や高い技術があることがわかった。

【目標・ねらい】

- 地域木材の有効利用
- 地域木材の地産地消
- そのための優良作品の喚起
- 木材利用のピーアール

自己評価 (目標達成率) 【 B 】

今後の取り組み

作品は、実物での展示が見たいとの声が多く寄せられた。場所の制約や管理の問題もあり、終了後に最優秀作品のみ展示されたが、今後可能な限り各作品の展示を考えていきたい。

出展者には2度目の応募者も多く、今後、地域の木材関係者の目標となるようなコンテストを目指す。また、集まったこのアイデアや高い技術を、地域木材の有効利用や地域産業の活性化にどう結び付けていくかが今後の課題である。これらのアイデアを量産や商流に乗せるための地産地消のシステムを、体系づけ、定着できるよう取り組んでいきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。